

「史跡石清尾山古墳群保存活用計画（案）」に関するパブリックコメント実施結果

本市では、令和5年12月24日から令和6年1月25日までの期間、「史跡石清尾山古墳群保存活用計画（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。この度は、貴重な御意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1 意見総数 1件（1人）

2 いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしています。

No	御意見（要旨）	市の考え方
1	<p>鶴尾神社4号墳の崖面補強について、現在モルタル吹付が行われていますが、今後どのように補強工事が行われるのでしょうか。頂上付近までの盛土補強等により崖面の安定を図る方法の方が、長期的な劣化に備えるためにも、また崖側から古墳に寄付けるためにも、望ましいのではないのでしょうか。安全確保と景観に配慮した整備を希望します。</p> <p>また、計画対象の古墳群は歴史的価値が非常に高いものであるため、計画地へのアクセス向上を図り、特別名勝の栗林公園との回遊性を含め、街のにぎわいとなることを希望します。</p>	<p>鶴尾神社4号墳保存対策につきましては、当初は木太鬼無線トンネル工事等で生じた残土を利用した盛土工事を実施しましたが、公共工事等により生じる良質な残土のまとまった確保が見込めないことから、現在は崖面補強工事に切り替え、モルタル吹付と高強度ネット、ロックボルトにより施工するとともに、モルタルに茶系統色を着色し景観にも一定の配慮をしているところでございます。</p> <p>また、本計画につきましては、栗林公園をはじめとして、「関連する他の文化財との連携によって、より多角的な活用機会の増加に努める」ことを活用の基本方針の一つとしているところでございます。今後とも、文化財の適切な保存と活用を通じまして、創造性豊かなまちづくりを進めてまいります。</p>